

2026年3月11日

【急性期入院患者における経口摂取獲得と栄養スクリーニング・基礎疾患の関連についての検討】に対するご協力をお願い

研究代表者 呉医療センター・看護師
氏名 横山 知子

このたび、呉医療センターの倫理審査委員会の承認・当院院長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。

この研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

1. 対象となる方

西暦2019年10月1日から2025年12月末日までの間に、呉医療センターに入院し、嚥下障害を疑い嚥下内視鏡検査を受けた患者さん600名

2. 研究課題名

研究課題名：急性期入院患者における経口摂取獲得と栄養スクリーニング・基礎疾患の関連についての検討

3. 研究実施機関

呉医療センター

4. 本研究の意義、目的、方法

入院時の栄養状態は、治療経過や予後に影響を及ぼすとされており、すべての患者に対して栄養状態を適切に判断するための栄養スクリーニングを入院時に実施することが推奨されています。また、入院時の低栄養と経口摂取獲得には密接な関連があると考えられています。

入院時栄養状態と経口摂取獲得・回復、死亡リスクを検討した先行研究は存在するものの、多くが栄養状態を「良好・不良」の2分類で評価しており、「栄養不良のリスク状態」を独立して取り扱った報告は少ない状態です。

当院では65歳未満の患者さんに主観的包括的評価（Subjective Global Assessment :SGA）を、65歳以上の患者さんには簡易栄養状態評価表（Mini Nutritional Assessment -Short Form :MNA-SF）を用いた栄養スクリーニングを実施しています。SGAにおいては「栄養状態良好」「栄養不良の可能性」「重度の栄養不良」の3分類で、MNA-SFにおいては「栄養状態良好」「低栄養のおそれあり」「低栄養」の3分類で判定されます。先行研究のように栄養スクリーニングを2分類化すると、「栄養不良の可能性」「低栄養のおそれあり」に分類された患者は二分されることになり、臨床上の情報が減弱

し有用性が低下すると考えられます。そこで本研究では、栄養状態を2分類ではなく本来の3分類のまま検討することにしました。

3分類の栄養スクリーニング結果と、嚥下内視鏡検査を受けた患者のFOIS（経口摂取獲得のスコア）の変化と基礎疾患との関連を探索的に検討することで、入院時に判定した栄養状態から経口摂取獲得に関する予後予測の可能性を明らかにしたいと考えます。

本研究により、入院時の「栄養状態良好」「低栄養のリスク状態」「低栄養」という3分類を、（嚥下内視鏡検査を受けた患者の）経口摂取獲得の見通しやリハビリ計画立案に反映できる可能性が示されると考えます。

5. 協力をお願いする内容

上記1.対象となる方の、年齢、性別、主たる入院病名、既往歴、併存疾患、入院時BMI、入院時血清アルブミン値、入院時栄養スクリーニング結果、嚥下内視鏡検査実施時のFOIS、退院時のFOIS、嚥下内視鏡検査時のスコアの情報を使用させていただきます。

6. 本研究の実施期間

承認日 ～ 2026年6月30日

7. プライバシーの保護について

本研究で取り扱う患者さんの情報は個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものかわからない形で使用します。研究上のデータから患者さんが特定されることはありません。

8. 知的財産権

将来、この研究の成果が得られ、知的財産権が生じる可能性もありますが、その権利は研究者もしくは所属する研究機関に帰属します。

9. 利益相反

本研究では、利害の衝突は一切生じません。

10. お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡ください。

研究責任者：7A病棟 看護師 横山 知子

研究分担者：8A病棟 看護師 富中 香那

所属：独立行政法人 国立病院機構 呉医療センター

住所：〒737-0023 広島県呉市青山町3-1

電話：0823-22-3111(代表)

本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より情報の利用提供停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行います。なお、すでに個人情報が特定できないようデータ化したものはデータの削除ができない可能性がありますのでご了承ください。